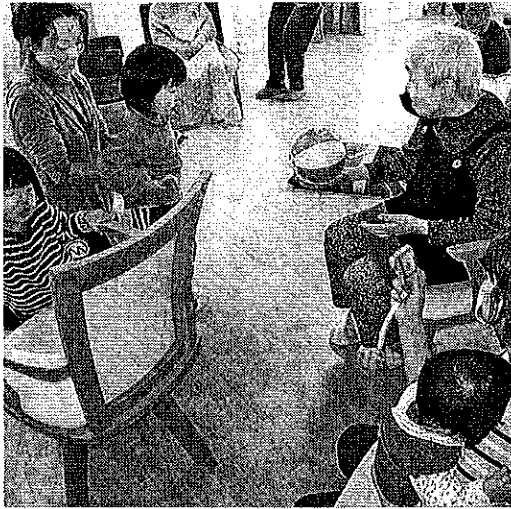


# デイサービス参入続々

## 異業種の中小

日帰りで高齢者に食事や入浴を提供するデイサービスに、異業種の中小企業が相次いで参入している。有料老人ホームなどの介護施設に比べて初期投資が少なく、済み、人員配置の基準も緩いためだ。保育所や学習塾など本業で培ったノウハウを、市場拡大が続くデイサービスでも活用することで独自色を出し、大手に対抗しようとしている。



## 幼児施設と一体型展開

保育所ベンチャー▲

一体型施設では乳幼児と高齢者が交流できる(ゲローバルブリッジの千葉市の施設)

保育所の開業支援を手

掛けるグローバルブリッジ(東京・墨田、貞松成社長)は保育所と定員10人の小規模なデイサービスの一体型施設の全国展開を強化する。現在は九州や北海道など約10カ所で展開するが、2012年12月までに100カ所まで広げる計画だ。

同社は09年に保育所との一体型施設を開設した。高齢者と乳幼児が一緒に食事や散歩をすることとで、「認知症の高齢者の表情が豊かになるなど効果がある」(貞松社長)とみて、施設を増やす。昨年10月に熊本県で始めたライセンスビジネスも広げる方針だ。